

第1号議案

令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日～ 令和4年3月31日)

特定非営利活動法人
京都観光文化を考える会・都草

1. 事業の成果

この2年間は新型コロナウイルスの世界的流行（パンデミック）に終始したものの、特定非営利活動法人 京都観光文化を考える会・都草（以下都草）は、地道な努力を重ね対外的な信用を得ながら進展してきた。

昨年度も、小康を得た期間もあったが、新型コロナウイルス感染拡大の脅威の中にあることには変わらなかった。そして都草も、数度に亘った感染急拡大の影響を大きく受けた。出口の見えない混沌とした状況下の活動では、会員の安全を最優先に考えた。その結果、人数制限を設けたり、延期・中止を繰り返す活動を強いられることになった。再び、このような辛抱の1年となったが、前向きに事に対処してきた。なお、令和4年3月の会員数は350名である。

しかしながら、一昨年度から都草活動のデジタル化を推し進めてきた結果、オンライン会議、オンライン講座、YouTube の利用がニューノーマルとしてすっかり定着した。オンライン使用の利便性は、活動の合理化・効率化をもたらしている。

一方、昨年12月には、時代の変革期にさらに会員同士の繋がりを深め発展することを踏まえ、都草創立15周年記念式典を開催した。式典では特別講演に山田啓二先生をお迎えし、顧問の井上満郎先生に御臨席いただいた。さらに篠笛演奏、功労者表彰、京都探訪シナリオコンテスト応募に対する入賞者の表彰をした。また、15周年を機に、さらなる都草の活動の充実・活性化を図る為に実施したアンケートでいただいたご意見ご提案について、各担当理事より回答をした。

都草の独自の活動としては、京都府立京都学歴彩館での都草講演会を2回実施した。6月は祇園祭研究会による祇園祭の山鉦にみる動物調査も報告され、1月の「豊臣秀吉と京都新城」は参加者189名を数えた。両講演会共に京都新聞に大きく掲載された。さらに、京都検定対策委員会の活動で、令和3年度に15回目を迎えた都草京都通模擬試験（京都検定1級受験者対象）の総受験者は181名で、会場受験者65名、自宅受験者116名であった。

執筆事業では、3年前より、白川書院発行『月刊京都』一京都ふしぎの玉手箱一に連載記事を寄稿している。都草ならではの情報を全国の読者に提供する一方、読者からも反響をいただいている。

その他の事業で制作した作品『京都 都草のとおき』の第一作目である「京都御苑」が完成した。

【社会連携事業】

9年目となる毎週日曜日開催の京都御苑歴史散策ツアーは、7月3回、8月1回、11月1回、令和4年1月2回、3月1回と散発の実施となったが、新人ガイドを含め各コースの研修を実施した。

6年目を迎えた旧議場土曜講座の全6回が京都府庁旧本館で開催された。観桜祭観芸祭は中止となった。

昨夏14回目を迎えた大船鉦ボランティアは、山鉦巡行が中止となった一方で大船鉦の鉦建ては行われたため、大幅に人数を制限して活動を再開した。

美化活動は、1月19日の平安神宮での活動で200回を迎えた。新たな活動場所を2件開拓し、用具も購入ができた。新型コロナウイルス感染拡大の影響があったものの、参加者は毎回30名を超える状況で8回実施できた。新人会員オリエンテーションでの説明の効果により新しい会員の参加は図れたが、掃除道具を運搬する要員が確保できなかった。

【会員事業】

歴史探訪会は、3月24日に実施した「西賀茂にごたごた（兀庵普寧）を訪ねる」の1回のみの実施となった。しかしながらイヤホンガイドシステムを使用した試みが非常に好評であった。

研究発表会は、会員自身の研鑽の場となる貴重な機会であり、7回実施した。コロナ禍で他の活動が延期・中止になる中、会場参加に加え、発表の様子を動画で記録し YouTube で会員に限定公開した。これにより、発表者は自身のパフォーマンスを見直すことができ、多くの方が都合の良い時に自宅で聴講可能となった。

文化交流会は、第33回「歩いて楽しいまちなかゾーンを往く」の1回だけが実施された。イヤホンガイドシステムを使用したので、街中で密になることを回避できた。昨年は中止になり、6回目になる予定だった一子どもお茶会 百人一首であそぼー（共催：明日の京都文化遺産プラットフォーム）は、形を変えて「オンラインこども百人一首」として2回実施され協力出演した。

「第11回古文書講座」は、講座実施直前の、コロナ感染急拡大により延期となった。

都草 わくわく倶楽部のわくわく研究会は、12月・3月に2回の発表会を実施した。また、コロナ禍の中鬼門・京都タワーの調査を行い調査結果も発表した。もう一方の祇園祭研究会では、祇園祭巡行が中止となり活動計画の実施は叶わなかった。京都府立京都学・歴彩館府民協働連続講座第8回都草講演会では、「祇園祭 山鉾に見られる動物の調査 一中間報告」と、泉屋博古館の山本堯学芸員を交えての対談が行われた。また、リモート会議による祇園祭検定問題の内容・表現のチェックを、5回に亘り行った。

京のこと語り隊は、年度初から「京都の歳時」を統一テーマに、各自が個別の題材について研究・発表準備を行なってきた。その成果を確認する為、研究発表会での発表を1回、例会での発表を6回行なった。各自の取り組みは概ね成果を挙げている。

ガイド研修は、ガイド活動をする会員のスキルアップを目的に「話すこと コミュニケーションの大切さ」というテーマでコミュニケーション研修を開催した。

映像制作事業では、都草の視点から一般の方向けにも京都の観光文化の新たな魅力を提供する作品『京都 都草のとおき』の第一作目である「京都御苑」を完成させた。制作にあたり、構成、台本などは都草が担当したが、撮影、編集は選定した業者に依頼した。今後の全面的な自主制作に向けて、業者から映像作品制作のノウハウなど技術指導を受けた。

【受託事業：案内業務】

施設内案内業務は、京都府庁旧本館旧知事室旧議場が、1団体5名で事前予約制と人数制限をしておきの公開となり、観桜祭観芸祭も中止となった。

ツアーガイド業務は、JTBが6か月間休止となり、京都東急ホテルは中止となった。京都高齢者大学のまち歩きは、上半期は中止月もあったが10月以降は順調に実施した。

【受託事業：講座業務など】

京都検定対策委員会が講師を務める、京都新聞文化センター主催の京都検定1級講習会の受講者は372名だった。東京会場で1回、京都会場で3回の講習会を行った。委員会独自の作成資料は例年通り高い評価であった。また、ヤサカ自動車の社員を対象とした京都検定受験対策講座（京都検定2級及び3級受験者対象）を11回開催し、公開テーマ対策の講習会を追加開催した。京都駅ビル開発京都検定対策講習会（京都検定3級受験者対象）も4回実施し、好評であった。

京都伝統工芸大学校は、全講座が収録によるオンライン講座となり、講師3名で担当した。京都高齢者大学校については、聴講者数がコロナ禍で30人前後となり、講演を8回実施した。阪急交通社たびコト塾（大阪）は、同じくコロナ感染拡大の影響で6回の講座開催にとどまったが、令和4年2月よりオンラインでの講演会を開始した。

また、白川書院発行『月刊京都』の“京都ふしぎの玉手箱”を毎月連載して3年目となった。

以上、昨夏や今年1月に入ってから新型コロナ感染急拡大という甚大な脅威と制約のなか、アフターコロナの活動を勘案してさらにデジタル化を強力に推し進めながら、可能な限りのNPO法人としての社会貢献と会員活動の場の創出に務めた。

2. 特定非営利活動に係わる事業の実績

事業名	事業内容	実施日	実施場所	スタッフ	対象者
観光地等における美化活動	第194回 美化活動 「新善光寺」	令和3年9月15日	新善光寺	8名	会員 33名
	第195回 美化活動 「光照院門跡」	令和3年10月14日	光照院門跡	8名	会員 42名
	第196回 美化活動 「若宮八幡宮社」	令和3年11月9日	若宮八幡宮社	8名	会員 28名
	第197回 美化活動 「眞如寺」	葬儀のため中止	眞如寺	4名	
	第198回 美化活動 「長楽寺」	令和3年12月1日	長楽寺	8名	会員30名
	第199回 美化活動 「善法律寺」	令和3年12月17日	善法律寺	8名	会員25名
	第200回 美化活動 「平安神宮」	令和4年1月19日	平安神宮	8名	会員30名
	第201回 美化活動 「安楽寺」	令和4年2月24日	安楽寺	8名	会員37名
	第202回 美化活動 「藤森神社」	令和4年3月9日	藤森神社	8名	会員31名
京都観光文化に関する調査・報告	第95回 歴史探訪会 「西賀茂にごたごたを訪ねる」	令和4年3月24日	西賀茂周辺	9名	会員39名
	第113回 研究発表会 「文化の発信地としての遊郭・橋逸勢社成立の一考察」	令和3年4月22日	ひと・まち交流館 京都	5名	会員32名
	第114回 研究発表会 「世界文化遺産 古都京都の文化財」	令和3年8月6日	ひと・まち交流館 京都	5名	会員22名
	第115回 研究発表会 「『翁草』自筆原本確認作業・土御門大路を歩く」	令和3年9月9日	ひと・まち交流館 京都	5名	会員16名
	第116回 研究発表会 「上賀茂神社歴史的イベント・吉田初三郎とその画風」	令和3年11月19日	ひと・まち交流館 京都	5名	会員 25名
	第117回 研究発表会 「日本書紀4(齐明天皇～天智天皇)・和歌短歌あれこれ」	令和3年12月24日	ひと・まち交流館 京都	5名	会員 27名
	第118回 研究発表会 「承久の乱と六波羅探題・昭和 一 京都の料理屋」	令和4年2月3日	ひと・まち交流館 京都	5名	会員 26名
	第119回 研究発表会 「淀の地形と歴史の変化・伏見寺田屋を考え直す」	令和4年3月25日	ひと・まち交流館 京都	5名	会員 28名
	第8回 都草講演会 「古代中国の瑞獣・祇園祭山鉦の瑞獣」 山本堯氏、祇園祭研究会	令和3年6月20日	京都学・歴彩館	12名	会員・一般 113名
	第9回 都草講演会 「京都新城」 南孝雄氏、福島克彦氏	令和4年1月16日	京都学・歴彩館	17名	会員・一般 170名
	第33回 文化交流会 「歩いて楽しい街中ゾーンを往く」	令和3年11月14日	京都市内	4名	会員 26名
	第11回 都草講座 『名所図会を比較しよう』	中止	ひと・まち交流館 京都	2名	
	わくわくクラブ わくわく研究会	令和3年12月6日 令和4年3月23日	アスニー	6名	部員 約20名/回

京都観光文化に関する調査・報告	わくわくクラブ 祇園祭研究会	令和3年4月～ 令和4年3月	オンライン	5名	幹部のみ
	コミュニケーション研修	令和3年10月13日	アスニー	3名	会員
	京のこと語り隊	年数回	ひと・まち交流館 京都、オンライン	3名	会員
受託事業	京都府庁旧本館に係る 旧知事室等案内・監視業務	令和3年4月～ 令和4年3月	旧知事室等	10名	一般 1488名
	京都府庁旧本館に係る 旧議場案内・監視業務	令和3年4月～ 令和4年3月	旧議場	17名	一般 1493名
	京都東急ホテル 周辺ウォーク	中止	京都市内		
	上京de婚活	令和3年10月30日	ブライトンホテル	6名	50名
	ヤサカ観光講座	令和3年7・8・11月 (11回)	ヤサカ自動車	3名 /回	ヤサカ社員 10～15名・ 会員7名/回
	ヤサカ観光講座補講(3級用)	令和3年8月16日	ヤサカ自動車	4名	ヤサカ社員・ 会員 約20名
	京都商工会議所主催 京都会場 京都検定1級対策講座	令和3年9月12日	京都経済センター	6名	一般 80名
	京都商工会議所主催 京都会場 京都検定1級対策講座	令和3年9月18日	京都経済センター	7名	一般 約80名
	京都商工会議所主催 東京会場 京都検定1級対策講座	令和3年9月25日	大正大学	7名	一般 約90名
	京都検定講習会 京都駅ビル開発	令和3年9月～11月 (4回)	京都駅ビル	6名	約13名 /回
	京都新聞文化センター主催 京都検定講習会	令和3年4月17日、 9月11日	京都経済センター	1名	一般 57名
	京都商工会議所主催 京都会場 京都検定1級対策講座	令和3年10月10日	京都経済センター	6名	一般 119名
	京都検定講習会 ヤサカ観光講座	令和3年7月～ 令和3年12月(11回)	ヤサカ自動車	9名	ヤサカ社員 約15名/回
	京都高齢者大学校 講座	月1回	長浜バイオ大学 河原町学舎	12名	一般 約30名/回
	京都高齢者大学校 ぶらり京都のまち歩き	月4回×8+1回	京都市内	56名	一般 約30名/回
	京都伝統工芸大学校 京都学講座(オンライン)	令和3年4月～ 令和3年9月	京都伝統工芸 大学校	3名	学生 145名/回
	JTBまちあるき	令和3年4月～ 令和4年3月	市内	44名	一般147名
	JTB東福寺夜間拝観	令和3年11月15日～ 11月30日	東福寺	10名	一般 多数
	安楽寺特別公開	令和3年11月～ 週末6日間	安楽寺	6名	一般 多数
	伏見区民史跡巡り	令和3年11月27日	深草、伏見周辺	2名	一般48名
	紫竹民児協「百人一首」	令和4年1月11日	紫竹会館	1名	一般16名
	阪急交通社 たびコ塾 大阪	6回	梅田阪急 グランドビル30F オンライン	9名	一般 約30名/回
	阪急交通社 たびコ塾 東京	年3回	阪急交通社 東日本営業部 新宿センター	1名	一般約30名

受託事業	オンライン子ども百人一首	令和4年1月 8日 令和4年3月27日	立命館大学 朱雀キャンパス	1名	29名 40名
京都の 歴史・文化 の紹介	月間京都連載 「京都ふしぎの玉手箱」	令和3年4月～ 令和4年3月(月1回)	京都市内	11名	約5万部
	大船鉾ボランティア	令和3年6月27日、 7月20日～23日	四条町会所	3名	会員15名
	創立15周年記念式典	令和3年12月19日	京都学歴彩館	17名	会員92名
	旧議場土曜講座	令和3年10月～ 令和4年3月(月1回)	京都府庁旧議場	4名	一般22～ 60名/回
講座	第15回 京都通模擬試験	令和3年10月24日	ひとまち交流館・ 自宅	21名	会員・一般 181名